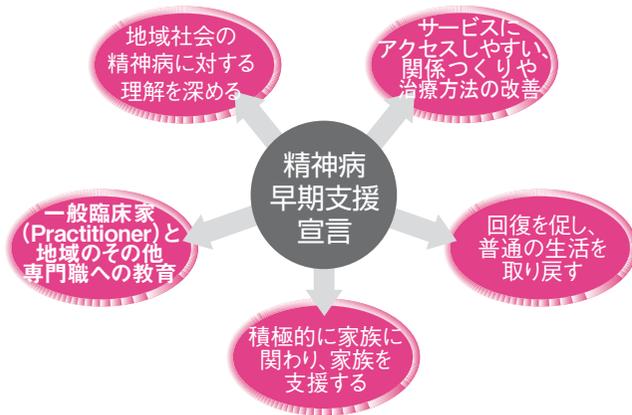


精神病“早期支援”宣言 とは

5つの行動目標

一英国で毎年新たに精神病を発症する7,500の若い人たちに最も必要な支援を提供するために



「精神病“早期支援”宣言」はメンタルヘルスサービスの変革を目指す真剣な取り組みです。メンタルヘルスサービスとは、精神病を患う若い人たちとその家族の生活を持続的に改善するために、皆で力を合わせることで。

この宣言は、以下のことを目指します

- ・ 精神病に対する偏見や差別や迷信と戦う。そのために地域社会の理解を深め、全ての15歳の少年・少女とその教師に、精神病についての教育を行う。
- ・ 治療の遅れや強制的介入を減らす。そのために互いに力を合わせて、より早期に、若い人たちとその家族のニーズに合致したサービスを提供するようにする。この宣言は、発症から3か月以内の人や、3回以上支援を求めた人に効果的な治療を提供することを求める。
- ・ 社会からの疎外や満たされない生活を生み出す社会的諸要因に影響を与えて、変えて行く。
- ・ 住居がある、仕事がある、家族生活がある、友人がいる、など通常の生活を誰もが送れるようにする。こうしたことは回復の重要な指標であり、治療計画や成果評価が目指している目標である。
- ・ 家族が、孤立していない、見放されていないと感ぜられるようにするべきだ。そのために情報や教育、様々な(社会的、経済的、実用的、あるいは精神的な)支援を家族が利用しやすくする。
- ・ 家族に対して一週間以内に適切な答えを返し、家族を治療上のパートナーとみなすことを求める。
- ・ 専門家の態度は家族に将来への希望や楽観を抱かせるようなものであること。
- ・ 一次医療の関係者と福祉サービス従事者のトレーニングカリキュラムの基礎部分に精神病を患う若い人たちとその家族の早期発見やケアや治療のことを取り入れるべきだ。メンタルヘルスの専門医は常に最新の技術と知識を持ち、精神病の早期支援のために最適なケアを行えるようにするべきだ。

精神病“早期支援”宣言が 作られた経緯

2002年6月、ニューキャッスルで英国精神保健研究所(NIMHE)が発足した際に、40人の人たち(サービス利用者、家族会のメンバー、臨床専門)が、WHO、Rethink、IRIS(Initiative to Reduce the Impact of Schizophrenia)の代表者と話合って、発症早期の若い人たちと、その家族が望むケア基準について合意した。

「精神病“早期支援”宣言」は2004年5月19日に英国のブリストルにおいて行われたWHOと国際精神病早期支援協会の会議において公式に発表された。

WHOのメンタルヘルス担当理事の
Dr.Benedetto Saracenoの言葉

我々には、献身的な人、善意の人、草の根の人を必要としている。何故なら、「宣言」の行動目標に示されているように、これは私たち全員の課題であるからです。それぞれの人が自分の持っている可能性と能力を活かして、しかし皆が一緒になって、何よりもサービス利用者とともに……

rethink
severe mental illness

NHS
National Institute for
Mental Health in England